

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 堀江染工株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 711-0911 岡山県倉敷市児島小川 8-2-37	
本票作成	部署名：生産部				
主たる業種	分類コード	11	業種名：繊維工業		
事業の概要	綿・スフ・麻織物機械染色業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	1	堀江染工株式会社		岡山県倉敷市児島小川 8-2-37	
特定事業者の該当要件	☐ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ☐ ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ☐ ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量	目標年度(令和 6 年度)
	2,288 t CO ₂	2,399 t CO ₂	2,265 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6)年度排出量
	1	堀江染工株式会社	2,399 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 (1 箇年度)			
	☐ 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	☒ 原単位基準	5.7 %	1.0 %	☒ 達成 ☐ 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 年間生産反数	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		186.654 kg CO ₂ /(反)	175.944 kgCO ₂ /(反)	184.784 kgCO ₂ /(反)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

加工に使用するエネルギーは増加し、CO₂排出量は増加したが、前年より年間生産反数が増加した為、原単位あたりの排出量は基準値よりも削減できた。

【推進体制】

毎朝の生産部会議によって、稼働機械の制限を行った。また、連絡事項の周知を朝会議を使って行い、作業の効率化を図った。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
堀江染工株式会社	(令和6年度実施分) 生産部会議で、工場の再加工率を報告しエネルギーロスの報告を行った。また、連絡事項の周知を朝会議を使って行い、作業の効率化をはかった。 (今後実施予定分) 前年度と同様に、連絡事項の周知を朝会議で行う。さらに、再加工率の削減を念頭に置いて作業を行い、エネルギー消費削減に努めて日々改善するようにする。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】